

赤十字防災セミナー

災害に強い地域づくり、始めませんか？



いのちを守る力を地域に広げるために

災害は、いつどこで起きるか分かりません。

日本赤十字社は、日頃からの備えを通じて、いのちを守る力を育てることを大切にしています。赤十字防災セミナーでは、自分や家族を守る備えや、身近な人と支え合うための学び、今日からできる行動のきっかけを広げます。

詳細は裏面をご覧ください。

いざという時にいのちを守るために

今後発生が予測される大規模災害

	南海トラフ地震	首都直下地震	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震
今後30年以内の発生確率	80%程度	70%程度	約7~40%
最大想定死者数	約29万8千人	約1万8千人	約19万9千人

【出典】・南海トラフ地震防災対策推進基本計画(令和7年7月1日) ・中央防災会議 防災対策実行会議 首都直下地震対策検討ワーキンググループ(令和7年12月19日)
・日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進基本計画(令和4年9月30日)

カリキュラム一覧

地域の課題や対象者に合わせ、必要なカリキュラムを選択・組み合わせて実施することができます。



日本赤十字社の紹介(約10分)

日本赤十字社の活動内容や、災害時の役割、防災・減災への取り組みについて理解する。



災害への備え(約60分)

自然災害や感染症による被害からいのちを守り、その後の暮らしをつなげるために、日頃からできる備えを理解する。



災害エスノグラフィー(約60分)

被災者の体験談を通じて災害を追体験し、被災の具体的なイメージや災害の全体像を理解する。



災害図上訓練(約120分) (DIG: Disaster Imagination Game)

地域の危険性や防災資源を把握し、地図を囲んで意見交換しながら、災害時に起こることや被害を減らすためにできることを理解する。



家具安全対策ゲーム(KAG)(約30分)

おうちのキケン(約45分)(小学校5・6年生対象)

自宅(部屋)の平面図を描くゲームを通じて、家の危険な場所を把握し、自らが家具の安全対策の必要性を理解する。



ひなんじょ たいけん(約90分)

避難所を作るカードゲームを通じて、避難所生活の一部を体験し、避難者の目線での心がけることや支え合いの大切さを理解する。



大雨・台風の避難スイッチ(約60分)

大雨・台風の災害リスクを把握し、こころの働きも踏まえて、避難の判断や早めの備え・行動のポイントを理解する。



地域住民の防災・減災に関する知識・意識・技術の普及向上

セミナーを通じて目指すこと



地域における災害発生時の応急対応にあたるリーダー層の育成

地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることで、地域の住民の方々が自ら、災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目指します。

セミナーに関する問い合わせ先

日本赤十字社岡山県支部 事業推進課

電話 086-221-9595

E-Mail jiigo@okayama.jrc.or.jp

開催までの流れ等は、ホームページをご覧ください

